

持経宿台所の整理と平治宿の水場径改修工事

◇実施日 6月12日(日) 晴

◇参加者

平治宿作業班； 沖崎吉信、岩本信行、西克、湯川一郎、梶野照雄、生熊敏男・千満子、高階美根子
持経宿作業班； 児嶋道夫、大江加予子、畑林清子

11名

梅雨入りも間近になり、梅雨明けにはまた猛暑が待ち構えているこの時期、登山者も少なく小屋の宿泊予約も無くなるが、我々は休んでいることが出来ない。行事回数は少なくなるが、管理・巡視は続けなければならない。

この日も持経宿小屋の台所の最終仕上げ、鍋、ヤカン、食器などの収納と、平治宿水場径の一部改修のため出かけた。

午前8時半、下北山スポーツ公園の駐車場に集合。車3台に分乗し池郷林道経由で持経宿に向かった。

池郷林道と白谷林道は改良工事のため5月16日～11月17日まで通行止めになるという連絡があったが、6月8日～9日に持経宿に入る村吉さんが施工業者の十津川村平谷の松尾組さんに電話した結果、白谷側5ヶ所、池郷川で1ヶ所の改修を行う。白谷、池郷を同時に行わず、一方は通行できるようにする。当面白谷側から着手し、池郷側の工事を始める前に連絡する。という回答を頂いて

いる。

折れていた池郷林道ゲートも修理されているし、落石も殆ど無く50分で持経宿に着く。荷物を小屋前のテーブルに集め、平治宿に向かう準備をする。平治宿水場の段差材などは、先日村吉さんが持経宿に運びこんでくださった。



持経宿に到着

半割丸太を運ぶ

平治宿到着

児嶋さんは改装した台所の最終仕上げ工事、大江、畑林のお二人は運びだしてある食器や鍋などの整理と収納で持経宿に残り、8人で半割の丸太や木杭を持って平治宿に向かった。

私は荷物がやや重く、1時間10分掛かって平治宿に着いた。先着していた梶野、岩本のお二人はすでに水場へ降りていた。

湯川君と沖崎でハンマーやトンガなどの道具を持って行く。水場すぐ手前の4～5段の崩れ方が激しく、急いで補修する必要があると思っていて、時間的にもこの部分だけでできればと思っていたが、現場に着くと崩れている部分を迂回する形で道を付け替える作

業が始まっていた。崩れている場所は地中に岩があり杭が打てない、また沢筋でもあり雨が降るたびに水が流れて土が流されることが理由らしい。沖崎は2往復して段差材を届けた。



崩れた水場径



迂回路を新設



水場はよく流れている

水場径の途中では、生熊、湯川の2名が痛んだ段差材の取替作業中。小屋では千満子さんと美根子さんが整理と清掃、窓ガラスの拭き掃除までしてくださった。

水場径では12時半ごろまで作業を続け、7割ほど完了したので小屋に戻って昼食を摂る。

午後1時過ぎに平治宿を離れて持経宿に戻る。

持経宿のお三方は台所の最終仕上げ、食器や鍋類の収納。薪造りや千年桧のお堂の御供や櫛の交換をしてくださっていた。持経宿の内

外もすっきりした。皆さんお疲れ様でした、ご苦労様でした。



平治宿を離れる



本日の参加者



鍋なども収納

帰宅後も平治宿水場の根本的な改修が必要だと思い、行仙宿の水場径の様な鉄階段をネットで調べてみた。あるある、手ごろなものが見つかった。値段も重要な要素だが一番肝心なのは重量だ。分割組立ができるかなど現場での組み立て以上に平治宿まで運搬可能かなどを真剣に検討してみたい。(記：沖崎)

行動タイム

08：30 池原↓09：21 持経宿 09：35→10：40 平治宿 13：12→14：40 持経宿 13：50→15：45 池原